

バナナペーパーを使った環境教育

研究員 高橋和枝

エクベリ聡子



バナナペーパー (One Planet Paper®) は、バナナの収穫後に放置されていたバナナの茎から得た繊維と認証パルプを原料として、日本の紙漉き技術を使って製造されるフェアトレード認証紙である。原産地ザンビアの人々の生活を経済的に支援するだけでなく、森林資源や野生生物の保全にも役立っている。さらにその環境負荷を定量的に把握するため、ライフサイクルアセスメントの手法を用いて評価し、国際会議で報告した [1]。同時に行った製造現場等での調査により、後継者不足や良質な原料の供給不足等の課題に対して、バナナペーパーが貢献できていることが明らかになった。

一方、バナナペーパーは、包装紙や名刺、文房具などに使用されているが、一般消費者の認知度がまだ低いことが課題である。そこで、われわれは環境教育の教材としての利用する方法を検討し、(株)チョイスホテルズ・ジャパン、(株)ワンプラネットカフェと本学のコラボイベントとして 2025 年 1 月

に都内で小学生向けの紙漉き体験を開催した。このイベントでは、本学の学生らと一緒に、小学生が紙漉き技術を使ってバナナペーパーを作製し、キーホルダーにまで加工する体験型のイベントであった。さらにバナナペーパーが抱える社会的背景やフェアトレードの大切さを伝えることで、参加者にはものづくりの楽しさだけではなく、他者を支援する大切さも伝えることができたと感じられた (図 1)。

最後にこの取り組みに対して、第 7 回 SDGs Award 最優秀賞を受賞できたことは、学生にとっても大きな励みとなった。今後もバナナペーパーの認知度を向上させる活動の他、和紙をはじめ、伝統工芸に新たな価値を付加する技術開発に挑戦したいと考えている。

[1] P Ekberg, S. Ekberg, and K. Takahashi, 2024EcoBalance, 3-2E-5, (2024)



図 1 小学生向けイベントの様子